

地質ニュース

昭和 50 年 8 月 第 252 号 1975

解 説	高知県土佐山田町「繁藤地」の地質学的特性……………河 合 正 虎… 1
国際会議	第 9 回世界石油会議ハイライト…………… 星 野 一 男 嶋 崎 吉 彦 佐 藤 良 一 本 座 栄 一 …… 10
	陸奥川内 MUTSUKAWAUCHI ……………21
	アメリカ合衆国立自然史博物館……………太 田 良 平…22
	兼子勝氏に勲三等旭日中綬章……………29
	海泡石の産地エスキエヒールを訪ねて ～アナトリアの旅 その1～……………河 田 清 雄…30
海外事情	中国の石油資源……………福 田 理…36
	タイの地質に関する会議 チェンマイ大学 1973 (その2)……………沢 田 秀 穂…47
	学会 掲 示 板……………28
	地 学 と 切 手……………P. O ……35

編 集 地 質 調 査 所

表紙の写真

白亜紀の二枚貝化石

北海道の中軸帯には、白亜紀層が南北方向に広く分布している。この白亜紀層は アンモナイト(菊石類)や二枚貝の保存の良い化石を多く含んでおり、古くからいろいろと研究されてきた。そのため、北海道は日本ではもちろん世界的にも、白亜紀層のもっとも代表的な露出地域の1つとして有名である。

写真の化石は、イノセラムス(イノケラムス)という二枚貝の化石で、この種類は *Inoceramus (Sphenoceramus) naumanni* YOKOYAMA の学名でよばれている。写真の化石は、北海道宗谷郡猿払村の西部に露出する白亜紀後期の上部蝦夷層群から採集された。イノセラムスの化石は、世界的に白亜紀層によく産出し、日本でもアンモナイトの化石とともに、白亜紀後期の細かい時代区分に役だつ示準化石となっている。なお、写真右上にみられる放射状の模様を示す二枚貝の化石は、イノセラムスとは別の属の仲間である。

◎標本の実物は左右12cm (文 田中啓策 写真 正井義郎)

発行 株式会社 実業公報社